

資源循環いばらき

一般社団法人茨城県産業資源循環協会
〒310-0852 水戸市笠原町 978 番 25
茨城県開発公社ビル 4階
TEL/029-301-7100 FAX/029-301-7103
<http://www.ibaraki-sanpaikyo.or.jp>

第10回定時総会開催及び役員体制について



令和4年5月24日(火)、ホテルレイクビュー水戸において、第10回定時総会が開催され、第1号議案 令和3年度事業報告及び令和3年度収支決算の承認について、第2号議案 役員を選任について審議され、それぞれ原案のとおり承認されました。

また、総会後の理事会において今川敬秀氏が常務理事に選出されました。

【第10回定時総会の結果】

● 定足数の確認

出席19社、書面議決書提出309社、委任状提出23社の合計351社。

正会員数479社の過半数(240社)以上の出席があり、定足数を満たしていることから総会は成立。

● 議 事

第1号議案、第2号議案ともに書面議決書の賛成票が309票、反対票0票、委任状23票のほか、出席者からの異議なく、原案のとおり承認されました。

一般社団法人茨城県産業資源循環協会
会長 古矢 満 あいさつ



第10回定時総会開催に先立ちまして一言
ご挨拶申し上げます。

本来であれば、多くの会員の皆様や行政当
局の皆様をお迎えし総会を開催するところ
ありますが、依然として新型コロナウイルス
の感染拡大が収束していないため、会員の皆
様には書面での表決をお願いし、規模を縮小
した形での開催になった次第であります。こ
のような形での開催となったことについて、
ご理解いただきたいと存じます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナ
ウイルスの感染が一向に収束する気配が見え
ず、協会の活動も引き続き大きな制約を受け
た年でありました。

親睦チャリティーゴルフコンペや新春賀詞
交歓会など会員間の交流を図る行事が開催で
きななかったことを大変残念に思っておりま
す。

三密を避けるため、対面ではなく、ウェブ
を利用した取り組みが社会全体に増えてきて
います。当協会の業務委員会においても、オ
ンラインでの参加が始まっています。現地に
赴くことなくウェブ方式で会員企業の施設を
視察したほか、ユーチューブやSNSを利用
した事業PRの手法を学ぶ研修会も合わせて
開催し、大変好評を博したところです。

今後、様々な場面でウェブを活用する機会
が加速度的に増えますので、会員の皆様とと
もに取り組みを進めて参りたいと考えており
ます。

4月には、いわゆるプラ資源新法が施行さ
れました。プラスチック製品を作る事業者は、
容易にリサイクルが進むようにする設計が求

められますし、販売・提供事業者や消費者も
プラスチック製品の使用の合理化が求めら
れます。

廃棄物処理業界においても、資源循環をさ
らに進めるために、より高度な選別をいかに
効率的に行うかが求められています。

協会としても、様々な課題に対応するた
め、新たに設置した中間処理施設における専
門部会において、資源循環のための取組を進
めてまいりたいと思います。

協会にとって重要なテーマである最終処
分場の確保についてであります。

県では、この4月に、新たな産業廃棄物最
終処分場の基本計画を策定いたしました。

日立市諏訪町に整備するもので、埋立面積
が約9.8ha、容量約244万m³、埋立期間
20～23年とされています。

県関与公共処分場であるエコフロンティア
かさまも、容量の8割ほどまで埋立が進ん
でおり、近い将来埋立容量に達してまいりま
す。循環型社会にあっても、最終処分場は必
要不可欠なものでありますので、協会とし
ても喫緊の課題である最終処分場の早期整備
に向け、今後とも関係機関に働きかけてま
いりたいと思います。

本日の総会では、第1号議案として令和3年
度の事業報告及び収支決算報告の承認を、第
2号議案として役員を選任を、それぞれご審議
いただくこととしておりますので、宜しくお願
いいたします。

また、本来ですと、総会に合わせて、産業
廃棄物適正処理にご功労のあった方や事業
所、優良従事者に対する表彰をさせていただ
く予定でありましたが、コロナ禍のため、表
彰式は中止させていただくことになりました。
この場を借りまして、受賞された皆様には
心よりお祝いを申し上げます。

最後に、協会に求められる社会的使命と責
任の自覚のもと、当協会の発展・充実に努め
てまいる所存でありますので、会員の皆様
のより一層のご協力をお願いいたしますと
ともに、あわせて会員の皆様方の益々のご繁
栄とご健勝をご祈念いたしまして、私の挨拶
とさせていただきます。ありがとうございました。

役員体制

会長	(株)フルヤ建商	古矢 満		
副会長	(有)沼田クリーンサービス	沼田 元良	(有)プライムクリエイト	大木 清実
	(株)あおぞら	上甲 龍也	(株)昭栄	石本 雄治
理事	(株)茨城県クリニック・クリーン協会	大高 勝利	八幡砕石工業(株)	今田 英夫
	大蔵生コンクリート(株)	鄭 豊之	新和企業(有)	三品 清一
	(有)大進エンジニアリング	大越 成巳	勝田環境(株)	七井 雄司
	(株)潮来工機	西谷 年弘	(有)大陽環境センター	雲谷 芸里
	(株)つくばエンバイロメントソリューションズ	岡野 敏典	(株)やまたけ	山口 英幸
	高野工業(株)	高野 竜也	高橋商事(株)	藤枝 祥一
	黒沢産業(株)	黒澤 善弘	(株)カノヤ	鹿野谷雅人
常務理事兼事務局長	(一社)茨城県産業資源循環協会	今川 敬秀		
監事	前関東信越国税局	鈴木 正平	(株)日昇つくば	梶谷 吉伸
顧問	日立セメント(株)	深澤 正勝	佐藤泉弁護士事務所	佐藤 泉

協会会長表彰・連合会会長表彰 総勢30名受賞

茨城県産業資源循環協会会長表彰及び全国産業資源循環連合会会長表彰については、理事会での審議の結果、総勢30名の方々が受賞されました。

受賞者の皆様、誠におめでとうございます。

(一社) 茨城県産業資源循環協会会長表彰受賞者

功労者	優良事業所	優良従事者
・根崎 正行 根崎解体工事(株)	・ナカヤ建設(株)	・本間 英機 (有)明光産業
・古澤 真一 (株)エコイノベーション	・(株)向洋	・伏見 和人 根崎解体工事(株)
・黒澤 善弘 黒沢産業(株)	・栄興業(株)	・岡本 誠 日和サービス(株)
・西野 賢一 (一社)茨城県産業資源循環協会	・(株)ケイ・エム環境	・大和田健太郎 (株)カツタ
	・(株)茨大	・米川 司 ASRリサイクリング鹿島(株)
		・新関予志夫 (株)日昇つくば
		・秋葉 武 (株)新栄商事
		・川嶋 吉晴 (有)つくば環境サービス
		・清水 守 (有)関東実行センター

(公社) 全国産業資源循環連合会会長表彰受賞者

地方功労者	地方優良事業所	優良従事者
・藤枝 祥一 高橋商事(株)	・根崎解体工事(株)	・小林 裕之 (有)プライムクリエイト
・堀邊 忍 日立セメント(株)	・(株)ヤマサエコ ネットサービス	・佐久間正和 日和サービス(株)
	・石山みどり産業(株)	・川上 洋一 勝田環境(株)
	・(株)あおぞら	・柴田 邦彦 鹿島北共同発電(株)
	・(株)ダイゼン	・鈴木 秀文 日立セメント(株)

茨城県県民生活環境部
川股 圭之 部長 あいさつ



一般社団法人茨城県産業資源循環協会の会報誌「循環資源いばらき」の刊行にあたり、御挨拶申し上げます。

古矢会長をはじめ、会員の皆様におかれましては、日頃より、廃棄物の適正処理やリサイクルの推進等の取り組みを通じ、循環型社会の実現や県民の快適で豊かな生活環境の創出に御尽力賜り感謝申し上げます。

また、不法投棄のボランティア撤去事業や、災害廃棄物処理における県や市町村等との連携強化など、廃棄物処理を通じた地域貢献にも熱心に取り組まれており、廃棄物行政を推進する上で、大変心強く感じているところでございます。

さて、時代は今、少子高齢化をはじめ、新型コロナウイルス感染症の世界的流行、気候変動問題、デジタル技術の劇的な進歩など、これまでとは全く環境が異なる、予測困難な「非連続の時代」を迎えております。

県では、この困難な時代を乗り越え、本県を更に大きく発展させていくため、本年3月に、第2次茨城県総合計画～「新しい茨城」への挑戦～を策定し、「活力があり、県民が日本一幸せな県」を基本理念に掲げ、各種政策を推進しております。

特に、環境分野につきましては、本県の豊かな自然環境を守るとともに、環境への負荷が低い社会環境づくりを推進する「サステナブルな社会づくり」に積極的に取り組みますとともに、ゲリラ投棄の多発などの不法投棄の増加に対し、監視・指導体制や関係機関との連携の強化を図り、捨てづらい環境づくりを進めているところであります。

また、平成17年に開業したエコフロンティアかさまは、昨年度末でおおむね8割程度まで埋立てが進んでいる状況にあります。

貴協会から御要望いただいた公共関与による産業廃棄物最終処分場を安定的な確保につきましては、日立市諏訪町地内において新たな最終処分場の整備を計画し、本年4月には、廃棄物や地盤工学などの専門家を交えた委員会で審議された基本計画を策定し、環境対策などの基本的事項をまとめたところであります。

引き続き、安全安心を最優先とした施設整備を進めますとともに、交通安全対策や地域振興策も着実に進め、地域社会と共生が図られた持続可能な社会づくりを推進してまいります。

現在、世界では、エネルギーをはじめとする物の価格が大変な勢いで高騰しているとともに、気候変動による様々な影響が懸念されており、廃棄物処理におきましても、これまで以上に、資源の有効活用や脱炭素化の対応が求められております。

会員の皆様におかれましては、資源やエネルギー問題の解決に向けて、技術力向上や人材育成に積極的に取り組んでいただきますとともに、引き続き、地域における雇用創出や経済の活性化にも御貢献いただき、更なる発展を遂げられることを御期待申し上げます。

結びに、一般社団法人茨城県産業資源循環協会の御発展と会員の皆様の御健勝と御活躍を心より御祈念申し上げます。



協会ニュース

県西支部 熊本地震復興現地視察を実施(令和4年6月24~26日)

県西支部の復興支援活動は、11年前の東日本大震災から始まり、その後全国各地で発生した災害の被災地を訪れ、僅かではありますが復興支援金を届ける活動を行って参りました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で2年間全く活動ができずにいました。

そして月日が経ち、ワクチン接種が普及した昨今の感染状況を鑑みて、2年ぶりに活動を再開することにしました。



今回の活動は、今から6年3ヶ月前、2016年4月14日21時26分頃に起きた、熊本県益城町付近を震源とする震度7の大地震「熊本地震」の復興状況の視察です。古矢会長はじめ藤枝支部長他、県西支部会員8名で6月24日から九州地方へ向かいました。

視察当日、熊本地方は局地的な大雨の影響で道路が通行止めになり、予定していた視察地へ行けず、震源地となった益城町の様子も車窓からの視察となってしまいました。

益城町へは震災発生から3か月後に支援に訪れており、当時の惨状は私の記憶に新しいのですが、あれから6年経った益城町は被害の形跡がほとんどなく、目で見える限りでは急速に復興が進んでいると感じました。

また、重要文化財13棟、復元建造物20棟の一部が倒壊・破損、石垣全体の10.3%が崩落するなどの大きな被害を受けた熊本城は、復興のシンボルである天守閣の復旧を最優先課題として取り組み、昨年3月には天守閣が完全復旧しました。

崩れた石垣などの復旧には昔の形をできる限り再現し、文化財としての価値を損なわないようにすることが重要であり、熊本城全体の復旧は2037年度の完了を目指して着実に進んでおりました。完全復旧はまだ先ですが、工事を進めながら城内ライトアップや夜間公開などのイベントを開催することで、周辺地域の活性化や観光客の増加へとつながっていると思います。



熊本城の復興が地域の活力になっていることは間違いありません。



この他、福岡県の宮地獄神社や太宰府天満宮に赴き、茨城県産業資源循環協会と会員皆様の益々のご発展と健康を願う御祈りいただきました。

県西支部では災害の恐ろしさを肝に銘じながら、今後も全国の被災地に支援活動を行う所存です。

自然災害はいつどこで発生するか分かりません。もしも…に備えて、対応と行動を考える時間を今一度設けてみてはいかがでしょうか。

広報調査研究委員会 川嶋光貴 記

安全衛生委員会よりお知らせ

産業廃棄物業界は、他産業と比較して労働災害が多い業界です。当協会では安全衛生委員会を設置し、安全衛生水準の向上に取り組んでいます。

また、厚生労働省「職場のあんぜんサイト」に労働災害事例が公開されておりますのでご利用ください。 <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/>

全産連労災発生情報

「停車中に動き出したフォークリフトに挟まれ死亡」



【概要】作業員がフォークリフトで産業廃棄物の積み込み作業を行っていたところ、駐車していたフォークリフトが動き出し、トラックとフォークリフトにはさまれ死亡した。現場は傾斜していた。

【推定要因】

機械設備・有害物質の種類（起因物）	フォークリフト
災害の種類（事故の型）	はさまれ・巻き込まれ
発生要因（人）	危険感覚
発生要因（管理）	安全措置の不履行

【同類事故防止対策】 厚生労働省「職場のあんぜんサイト」より

フォークリフトから離れるときは確実に停止させること

▶フォークリフトの運転席から離れるときは、ブレーキを確実にかけ、傾斜のある場合は、輪留めを使用するなどの逸走防止措置を行う。

安全教育を実施する

▶労働者に対し、作業による危険性、危険を防止するための方法、作業手順等について、安全教育を実施する。

青年部会だより

Vol.5

茨城県産業資源循環協会青年部会の活動や魅力をお伝えしていきます。

第9回通常総会 顔を合わせて3年ぶりに開催

令和4年5月20日（金）コロナ感染症拡大防止の為、2年間リモートで開催していた通常総会ですが、ホテル側と協議し感染対策を十分に施したうえで、3年ぶりに会員が顔を合わせての開催となりました。



総会は会員34名（委任状15名）により開催され、渡邊部会長から「コロナ禍での運営で大変厳しい2年間であったが、アフターコロナに向け十分な準備ができた。役員改選で新体制となるが、青年部会らしく時代の変化を先取りして果敢に攻めて頂きたい。」と挨拶された。

議案審議では令和3年度事業報告及び決算報告、令和4年度事業計画と収支予算について慎重審議が行われ、また、任期満了による役員改選も審議され、本年より2年間、稲葉部会長（日立市：株式会社ニッカン）による新体制での運営がスタートしました。

なお、渡邊部会長は監事、また、青年部会設立時より長年携わり今回をもって卒業する関口副部会長（株式会社ケイ・エム環境）には相談役に就任いただき、引き続きアドバイスを頂くこととなりました。



部会長 就任あいさつ



（一社）茨城県産業資源循環協会
青年部会 新部会長 稲葉 淳

この度、第9回通常総会において、第7代部会長に就任致しました、株式会社ニッカンの稲葉でございます。

重責に身の引き締まる思いですが、部会員の皆様のご協力のもと、責務を全うするべく、全力を傾注する覚悟ですので宜しくお願い申し上げます。

部会長に就任するにあたり、部会員の皆様にとって実りある会にするためにはどうしたら良いかを考え、その結果、学びの場や情報交換の場を増やすこと、それが最良であると考えました。そのため、6月21日の幹事会では、勉強会や視察見学会、そして交流事業など、多くの事業を企画致しました。

コロナ禍により時代は大きく変わり、そして現在進行形で時代は変わり続けています。DXを例にとっても翌年にはインボイス制度が開始され、さらにその翌年には改正電子帳簿保存法の猶予期間終了に伴い、電子取引制度が完全に義務化します。そのため、我々は否応なくDXに取り組まなければなりません。

このように、年々時代は変わり、情報量は非常に多いため、1人ではなかなか学習しきれません。そんななか、私にとって、青年部会活動の中での勉強会や、部会員同士の情報交換により得られた知識は非常に多く、とても勉強になっています。

私のように、青年部会に入会し活動することで、『勉強になった』、『良かった』と、多くの部会員に思ってもらえることが、部会長である私の務めと信じ、積極的に事業を開催していきます。そして、事業を通じ、個々が成長することで、我々青年部会が業界のイメージアップに貢献できましたら幸いです。

新役員紹介

部会長	稲葉 淳	(株)ニッカン
副部会長	鈴木秀昭	新和企業(有)
	榊原 広	(有)榊原商店
	高橋俊輔	高橋商事(株)
	根崎佑介	根崎解体工事(株)
幹事	伊澤恭介	(有)柏廃材処理センター
	稲澤賢人	(有)稲澤商店
	生板清子	(有)大陽環境センター
	小松崎広治朗	(株)鹿島ガーデン
	畠山正寛	(株)やまたけ
	永田弘道	(株)MKシステム
監事	渡邊盛市	(株)エヌジェーピー
	友部哲哉	(一社)茨城県産業資源循環協会
相談役	関口和克	(株)ケイ・エム環境

❀株式会社ケイ・エム環境 関口和克❀

この度、15年間在籍しました青年部会を卒業することになりました。この間を振り返りますと、諸先輩方や他県青年部との交流研修事業に参加したことで人脈づくりだけでなく、自分自身もスキルアップする事が出来たと思います。茨城青年部会の代表として、関東ブロック協議会にも4年間参加し、災害復旧のお手伝いやBCP講演会、賀詞交歓会等を一致団結して開催する経験もさせていただき、今現在でも当時の仲間と交流を持ち一緒に仕事をさせていただいております。後輩へ伝えたい事は、協会事業に参加する事で自分自身だけでなく会社の発展にも繋がりますので、多くの方に参加していただきたいです。

卒業生からのメッセージ



❀株式会社河野銅鉄店 河野鉄也❀

渡邊部会長そして役員の皆様、友部さん、本当にお世話になりました。入会当初は不安がありましたが、皆さん温かく接して頂き仕事以外の事でも学ぶ事が多々ありました。県内は勿論、多くの県外の方とも交流でき、なかには以前からの知り合いにも偶然会えたり、人のご縁を感じました。全国大会に参加できた時が役員の皆様と一番深く交流できましたし、楽しい思い出も作れました。青年部で学んだ事は自分の財産でもあります。今後、稲葉部会長を中心に更なる拡大に皆様のご発展を祈りつつ期待しております。

❀大蔵生コンクリート株式会社 鄭豊之❀

初代沼田部会長世代に青年部会へ入部して、多くの諸先輩方に学びを頂き、そして自分自身が卒部を迎えるころ、新入された部員の皆様から新たな気づきや多くの学びを頂きました。

同業者の集まりの中で、どの辺りまで踏み込んだ考えを持てるのだろうか不安をよぎる初層でしたが、様々な活動を通じて不安を払拭するどころか、かけがえのない仲間との出会いを与えて頂きました。

この出会いこそがやがて産業を更に強化し個人の豊かさを育むものだと思えた、そんな青年部会でした。

あらためて感謝の意を表します。ありがとうございました。

❀黒沢産業株式会社 川面正裕❀

この度、青年部卒業にあたりまして、前部会長渡邊様、役員の皆様、会員の皆様、事務局の皆様には大変お世話になりました。今までの活動を振り返りますと、色々な方とお話が出来た事に感謝致します。同じ協会でありながらも、職種が異なるため、自分の知らないお話を沢山聞く事が出来、会社で取り入れたい事、アイデアなどが数多くありました。特に、全国大会に参加した時は、地域を越えた協会のつながりの深さを感じる事が出来ました。活動に参加した事は、すべてが自分の宝になると思います。

これからは、稲葉部会長のもと、コロナに負けず、様々な活動を通して、知識を深め、より良い人脈作りをして頂きたいと思っております。私も陰ながら応援させていただきます。皆様のご活躍を期待致しております。

第1回幹事会 新体制スタートに向けての新役員候補者会議を開催



令和4年5月11日（水）第1回幹事会及び新役員候補者会議を開催しました。

当日は会議室とリモート（Zoom）参加の併用（ハイブリット会議）とし、移動時間の省略ができるなど、忙しいなかでも短時間で参加できると好評でした。

今や働き方改革、業務効率化を進めるうえで欠かせない存在となったリモート会議であり青年部会でも積極的に取り入れてまいりたいと考えております。

第1回幹事会

《報告・議題》

- ・関東ブロック協議会からの報告について
- ・第9回通常総会の役割分担について
- ・県内幹事会開催の旅費廃止について

新役員候補者会議

執行体制の確認について

- ・会議方法、事業立案、継続する事業
- ・年間スケジュールの決定について
- ・研修事業の提案

青年部会の目的は業務や知識の習得、また、社会経験が浅く未完成であるがゆえに社会人としてのマナーを習得する場であり、資質の向上や普及活動に取り組むことで会員は勿論、社員や業界のためになり、最終的に利益に繋がる。

青年部会は会員の年齢制限が設けられており、限られた時間の中でどれだけ成果（実績）を上げることができるか。中長期的には青年部会から協会理事に相応しい人材が育ち、業界をリードしていかなければならない。

また近年、経営者や後継者より社員の会員が増え、親族と社員で圧倒的に出席率が違っている。皆に喜ばれる事業を多く企画して実績を残す必要がある。交流会や施設見学会、SDGsや環境学習は学生との交流を企画しアイデアを取り入れ、更には人材確保に繋げる等、時代のニーズに合った進むべき方向を模索したい。

参加した役員及び新役員候補者からは、事前に宿題となっていた新事業について、35にも及ぶ提案があり活発な意見交換となった。

一緒に成長できる仲間を募集しています。

次世代を担う若きリーダーの養成、産業廃棄物処理業界の資質向上と社会的地位の確立を図るため、当協会においては平成19年3月に青年部会を設立しました。

部会員の資格は45歳以下で当協会会員事業所（賛助会員を含む。）経営者、後継者または幹部職員が対象となっております。

現在40名が参加しており、設立以来活発に活動しております。

多くの部員と一緒に県内は勿論、県外産廃業者との交流、研修あるいは情報交換を通じてのスキルアップを図っていきたいと考えております。加入に興味のある方がおりましたら青年部会事務局までご連絡ください。

☆ 青年部会 行事 ☆

- 5月 第9回通常総会
- 6月 事業再構築補助金セミナー企画
太陽光パネル処理施設見学会
- 7月 改正電子帳簿保存法セミナー
- 8月 SDGs ワークショップ
水戸FC環境ボランティア活動
- 9月 視察研修会予定（PVシリーズ）
- 10月 千葉県青年部会との意見交換会

年会費 2,000円/月

お問い合わせ先

（一社）茨城県産業資源循環協会青年部会事務局
TEL：029-301-7100 FAX：029-301-7103
メール：tomobe@ibaraki-sanpaikyo.or.jp

【新入会員紹介】

我々青年部会に新しい仲間が加わりました！

コロナ禍でなかなか顔を合わせることが非常に難しい時期ですので、たよりを通じて新入会員を知って頂きたいと紹介します。

有限会社元クリーン 代表取締役 菅野 元

住 所：北茨城市磯原町大塚 1491-2

連絡先：0293-42-0903



Q. 会社情報を教えてください。

茨城県北茨城市の有限会社元クリーンは廃棄物の収集運搬、リサイクル、浄化槽維持管理を中心とした小さな会社で、34年にわたって地域密着の活動を続けてきました。モットーは地域環境を維持・向上させ、明るく清潔な過ごしやすい街づくりに貢献することです。

業務以外には地域のゴミ拾いや地元の小学校への出前事業なども行っております。また、これまでに培ってきた実績と経験をもとに今後は廃棄物のコンサルタントや再生可能エネルギー事業などを展開していく予定です。



Q. 青年部会に入会したきっかけと期待することは何ですか？

昨今のウイルスや戦争と何が起きるかわからない時代になりました。以前から廃棄物業の行方をモヤモヤと考えることがあり、ふと同業の方たちはどのように考えているのかまた皆さんと行動を共にすることでそのヒントが見つかるのではと入会させていただきました。

期待していることは皆さんとの交流やネットワークです。馴れ合いではなく時には協力、時にはライバルとなり切磋琢磨できる関係が構築できるのではと思っています。

また、協会の実施している不法投棄撤去事業にとっても感銘を受けました。こういった活動を10年以上継続的に行っていると聞き、是非とも参加させていただきたいと思っています。

Q. 趣味や特技を教えてください。

テニス、ミュージカル鑑賞、ガーデニング、食器集め

Q. 最後に協会の皆様にメッセージをお願いします。

この度、青年部会に入会させていただきました有限会社元クリーンの菅野元です。

私は廃棄物業に誇りを持っており、この気持ちは誰にも負けません。まだまだ至らない点が多くあるため勝手ながら自身の成長の機会にさせて頂きたいと思っています。ぜひともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

～ 期待の若手紹介 ～

協会会員の期待の若手をご紹介します！

- (1) 主な業務内容 (2) 入社のきっかけ (3) 趣味・特技
(4) 挑戦してみたい仕事 (5) 最後にひと言



【株式会社 リサイクルパーク】

住 所：茨城県笠間市安居 3041 番地の 2
氏 名：川上 裕太さん 連絡先：0299-37-8338

- (1) 産業廃棄物の選別、重機オペレーターをしております。
(2) 知人の紹介で入社しました。
(3) 音楽鑑賞・サッカー
(4) 今の仕事に生かせるような資格取得にチャレンジしたいです。
(5) 後輩従業員の手本になれる様に頑張ります。



《上司からのコメント》 役職 総務部長 氏名 平岡 武史さん
川上君は入社時から黙々と作業をこなし日々頑張っています。
誠実で仕事も丁寧、周りからの信頼も厚いです。
新たな資格取得できるよう頑張ってください。今後も期待しています。



【有限会社 大陽環境センター】

住 所：茨城県鹿嶋市林 158
氏 名：内海 海さん 連絡先：0299-69-1748

- (1) 重機オペレーター
(2) 元々興味があり挑戦したいと考えていたので入社しました。
(3) 釣り（海・川）
(4) 整備士
(5) 健康第一



《上司からのコメント》 役職 工場長 氏名 河野 雅英さん
まだ若いのに色々な資格を意欲的に取得し、日常業務も真面目に率先してこなしてくれます。これからもどんどん色々なことが出来る人になると思います。
期待しています。

協会からのお知らせ

1) 会員事業所の入・退会について

令和4年4月から令和4年7月31日までに、次の会員が入・退会の手続きをしておりますので宜しくお願い致します。

《 入 会 》	【正 会 員】	・(有)大槻流通サービス・(株)関商店
	【賛助会員】	・(株)日本トリム
《 退 会 》	【正 会 員】	・(株)磯前商店・田城商店・田中産業
	【賛助会員】	・あいおいニッセイ同和損害保険(株)・(株)イバラキ・大橋行政書士事務所

なお、協会ホームページでは、掲載を希望した会員のみ、検索システムに掲載しておりますので是非ご利用下さい。

2) 協会の動き

協会で開催・参加した事業を掲載しております。

4月	5日	青年部次期正副会長候補者会議	6月	16日	正副会長会議
	7日	関東地協事務責任者会議		17日	第3回理事会
	19日	県南支部総会		20日	全産連第12回定時総会・臨時理事会
	21日	県西支部親睦ゴルフコンペ		21日	広報調査研究委員会
	22日	鹿行支部総会		21日	安全衛生委員会
	22日	関東地域協議会		24~26日	青年部幹事会
	26日	正副会長会議		27日	県西支部視察研修会
	28日	第1回理事会		27日	消防訓練説明会
	28日	施設見学			再生砕石工場立入説明会
5月	11日	青年部幹事会		28日	青年部視察研修会
	20日	研修厚生委員会		29日	建設フェスタ実行委員会
		青年部会通常総会	7月	5日	総務企画委員会
	24日	協会第10回定時総会		6~7日	更新収運許可・特責講習会試験
		第2回理事会		8日	全産連事務責任者会議
	25日	茨城県環境保全事業団理事会		11日	筑波大学打合せ・工場案内
6月	8日	ロボット点呼運行DXセミナー		12日	全産連第62回理事会
	9日	経営者協会総会・懇親会		14日	筑波大学工場見学
	9~10日	新規収運許可・特責講習会試験		15日	研修厚生委員会
	10日	災害処理打ち合わせ		21日	消防部分訓練
	15日	経済産業省「事業再構築補助金」セミナー			青年部幹事会・電子帳簿保存法セミナー
				22日	第22回親睦チャリティゴルフコンペ

協会ホームページお知らせ掲載内容(4月~7月)

詳しくは、協会ホームページをご覧ください。

- ・ 感染性廃棄物の取り扱いについて(国内でのサル痘患者の発生を受けて)
- ・ 産廃振興財団産業廃棄物助成事業について
- ・ 脱炭素社会構築のための資源循環高度化設備導入促進事業(追加公募)について
- ・ お盆休みについて
- ・ 2022年8月1日よりマニフェスト価格が変わります。
- ・ 令和4年度最終処分場維持管理講習会(オンデマンド講習会)の開催について
- ・ (株)脱炭素化支援機構に関する全国説明会の開催について
- ・ 令和4年度産業廃棄物処理実務者研修会(後期)開講のご案内

- ・「令和4年度産業廃棄物処理検定（廃棄物処理 処理法基礎）」開催について
- ・感染性廃棄物処理マニュアルの改定について
- ・「産業廃棄物処理 現場業務 eラーニング講座（令和4年度）」の開講について
- ・セーフティネット保証5号に係る業種指定について（令和4年9月30日まで）
- ・（低炭素関係）脱炭素社会構築のための資源循環高度化設備導入促進事業（追加）
- ・（低炭素関係）脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業の2次公募について
- ・（低炭素化関係）先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金の公募開始について
- ・（低炭素化関係）低炭素型ディーゼルトラック普及加速化事業の公募開始について
- ・（低炭素化関係）省エネルギー設備投資に係る利子補給金の公募開始について
- ・令和4年度第10回定時総会の開催結果について
- ・（低炭素関係）地域における太陽光発電の新たな設置場所（廃棄物処分場等）活用事業補助金の公募開始について
- ・労働安全衛生規則の一部を改正する省令の施行について
- ・令和4年度電波利用環境保護に関する周知・啓発活動について
- ・（低炭素関係）脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業の公募について
- ・令和4年度全国安全週間の実施に伴う協力依頼について
- ・令和4年度不法投棄強調月間事業について
- ・「労働者の心身の状態に関する情報の適切な取扱いのために事業者が講ずべき措置に関する指針の一部を改正する件」について
- ・特殊車両通行確認制度について
- ・（低炭素関係）脱炭素社会構築のための資源循環高度化設備導入促進事業について
- ・プラ資源循環法の施行に伴う各種手引の公表について
- ・「リチウム蓄電池等処理困難物対策集」作成のお知らせ
- ・限度超過車両の運行確認制度の運用開始について
- ・「経営戦略セミナー」の開催案内について
- ・2022年度許可講習会の申込について
- ・対面許可申請再開及び更新許可申請受付開始日の変更について
- ・2022年度許可申請に関する講習会日程について
- ・セーフティネット保証5号に係る業種指定について（令和4年6月30日まで）

変更届出書の提出についてのお願い

氏名・名称・所在地等の変更など事業内容に変更を生じた場合には、「変更届出書」を協会事務局まで提出して下さるようお願いいたします。

参考 定款施行規則第4条第1項の規程

会員は、次のいずれかに該当するときは、速やかに会長に届け出なければならない。

- (1)商号又は名称、代表者の氏名、住所又は法人の所在地及び事業を行う場所を変更したとき
- (2)茨城県知事の許可を得て、事業の範囲を変更したとき
- (3)事業の一部を休止若しくは廃止したとき

理事会の開催結果について

第1回理事会(令和4年4月26日) 茨城県開発公社ビル

- (1) 協議事項
 - ①全産連政治連盟への寄付について
- (2) 審議事項
 - ①令和3年度事業報告及び令和3年度収支決算報告について
 - ②理事辞任に係る同意について
 - ③第10回定時総会議案書について
 - ④第10回定時総会開催通知文について
 - ⑤茨城県産業資源循環協会入会の承認について
 - ⑥建設フェスタ実行委員会への協賛金の支出について
 - ⑦事業復活支援金の申請について
- (3) 報告事項
 - ①令和4年度全国産業資源循環連合会事業計画について

協議事項、審議事項とも原案どおり承認されました

第2回理事会(令和4年5月24日) ホテルレイクビュー水戸

- (1) 審議事項
 - ①常務理事の選定について

審議事項について原案どおり承認されました

第3回理事会(令和4年6月16日) 茨城県開発公社ビル

- (1) 協議事項
 - ①行政との意見交換会の開催について
 - ②いばらき自民党への県政要望について
- (2) 審議事項
 - ①令和4年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰者の推薦について
- (3) 報告事項
 - ①「災害廃棄物処理に係る連携及び協力に関する協定書」に基づく研修等について

協議事項、審議事項とも原案どおり承認されました

会費の預金口座自動振替のご案内

会費の納入につきまして、ご指定の預金口座から自動的に会費が引き落としされる「預金口座自動振替」にすると、支払いのわずらわしさがなく、支払日を気にしなくてすみ、たいへん便利です。

まだ、お申込み頂いていない会員の皆様で自動振替をご希望の方は、下記のとおり行っておりますのでご案内申し上げます。

1. 振替手数料は無料となります。
2. 口座振替は全国の金融機関（ゆうちょ銀行含む）の中からご指定いただけます。
3. 口座振替は、一括と四半期毎になります。（*賛助会員は一括のみ）
一括の場合は、年度初め4月の引き落としとなります。
四半期毎は、4月・7月・10月・1月の年4回の引き落としとなります。
4. お申込みをご希望の方は、協会事務局までご連絡ください。必要書類を送付させていただきます。

協会からの情報提供に係る電子メールアドレスの登録について

当協会では、これまでFAXにより情報提供や照会を行ってきたところですが、FAX送信に加え、データ量の多い通知でも速やかに発信を可能とする電子メールでの配信を並行して行っております。また、電子メールでの配信は、ペーパーレス化や通信費の削減に直結しますので、ご登録をお願い致します。

つきましては、電子メール配信をご希望される場合は、下記内容をメールにてご連絡下さいますようお願い致します。

【協会 E-mail】 info@ibaraki-sanpaikyo.or.jp

また登録された情報は、メール配信サービスの運営のために使用し、それ以外の目的には使用しません。

会員皆様のご理解とご協力を賜り、是非ご登録くださいますようお願い申し上げます。

- ・会社名
- ・担当者名
- ・電話番号
- ・メールアドレス（※可能な限り事業所内で共有できるアドレスをご記入ください。）

産業廃棄物管理票(マニフェスト)の価格改定について

原料価格や諸経費の値上げに伴い2022年8月1日販売分より、下記の通り産業廃棄物管理票(マニフェスト)の販売価格を改定させていただく事となりました。

つきましては、内容を確認いただき、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

【2022年8月1日ご注文分からの販売価格】

マニフェスト	種類	現行(税込)		改定後(税込)
産業廃棄物マニフェスト	単票	1箱 ¥ 2,600	➡	<u>1箱 ¥ 3,000</u>
	連続表	1ケース ¥13,000		<u>1ケース ¥15,000</u>
建設系廃棄物マニフェスト	単票	1箱 ¥ 2,500	➡	<u>1箱 ¥ 2,700</u>
	連続表	1ケース ¥12,500		<u>1ケース ¥13,500</u>

*マニフェスト購入申込書は、当協会のホームページよりダウンロードできます。

<http://www.ibaraki-sanpaikyo.or.jp/>

また、ダウンロードが出来ない場合は、事務局までご連絡いただければ申込書をFAX致します。

賛助会員一覧

賛助会員（54社）

令和4年7月1日現在

旭化成建材(株)境工場	☎0280-87-5232
アステラス製薬(株)つくば東光台事業場	☎029-847-8611
(株)A D E K A 鹿島工場	☎0299-97-3363
イーテラス(株)	☎03-5530-8167
(株)伊藤製鐵所 筑波工場	☎029-837-2111
茨城県アスファルト合材協会	☎029-225-6244
(一社)茨城県環境管理協会	☎029-248-7431
(一社)茨城県経営者協会	☎029-221-5301
(一社)茨城県建設業協会	☎029-221-5126
茨城県再生資源事業協同組合	☎0296-77-5764
茨城セキスイハイム(株)	☎029-303-8103
(株)エス・ディー・エス・バイオテックつくば研究所	☎029-847-0300
(株)E N E O S マテリアル鹿島工場	☎0299-96-2510
(株)MCエバテック つくば分析センター	☎029-886-3951
遅塚行政書士事務所	☎029-225-6685
花王(株)鹿島工場	☎0299-93-8311
鹿島石油(株)鹿島製油所	☎0299-97-3104
鹿島都市開発(株)	☎0299-92-3555
鹿島ポリマー(株)	☎0299-96-7261
(株)環境研究センター	☎029-839-5501
(株)環境総合研究所 北関東支社	☎029-303-7581
(株)関電工 茨城支店	☎029-387-2500
行政書士法人水戸総合事務所	☎029-251-3101
行政書士安事務所	☎029-226-0601
キューピー(株)五霞工場	☎0280-84-2596
(株)クレハ 生産・技術本部樹脂加工事業所	☎0299-26-1181
郡司経営法務事務所	☎029-232-0778

(株)国際商事	☎03-5623-9167
コベルコ建機日本(株)茨城営業所	☎029-304-5501
(株)サンアップ	☎029-852-4490
(株)サンライフコーポレーション	☎0296-73-6691
ジェーワン(株)	☎0296-73-6076
(株)J E M S	☎029-863-7215
(株)センチュリーホーム	☎029-254-2661
損害保険ジャパン(株)茨城支店日立支社	☎0294-23-3381
(株)大紀アルミニウム工業所 結城工場	☎0296-32-3311
ダイキン工業(株)鹿島製作所	☎0479-46-2441
高砂製紙(株)	☎0297-24-0611
高橋行政書士法人	☎0280-22-1008
(株)武井工業所	☎0299-24-5200
(株)中央環境行政事務所	☎029-305-5322
中央電力(株)	☎03-6681-3370
トーソー(株)つくば事業場	☎0297-52-2111
(株)トランス・アイ	☎03-6903-4577
日本製鉄(株)東日本製鉄所鹿島地区	☎0299-84-2912
(株)日本トリム	☎03-3537-1611
日立建機(株)土浦工場	☎029-832-7275
(株)日立産業制御ソリューションズ	☎0294-53-6115
(株)日立製作所 日立事業所	☎0294-21-1111
三井化学東セロ(株)茨城工場	☎0280-92-1562
三菱ケミカル(株)茨城事業所	☎0299-96-1142
(有)ミワ総合設計	☎029-305-3222
矢口事務所	☎029-862-2730
ユニマテック(株)	☎0293-42-2161

一般社団法人 茨城県産業資源循環協会事務局

〒310-0852

水戸市笠原町 978-25(茨城県開発公社ビル4F)

【電話】029-301-7100【FAX】029-301-7103

【E-mail】info@ibaraki-sanpaikyo.or.jp

【ホームページ】http://www.ibaraki-sanpaikyo.or.jp

